

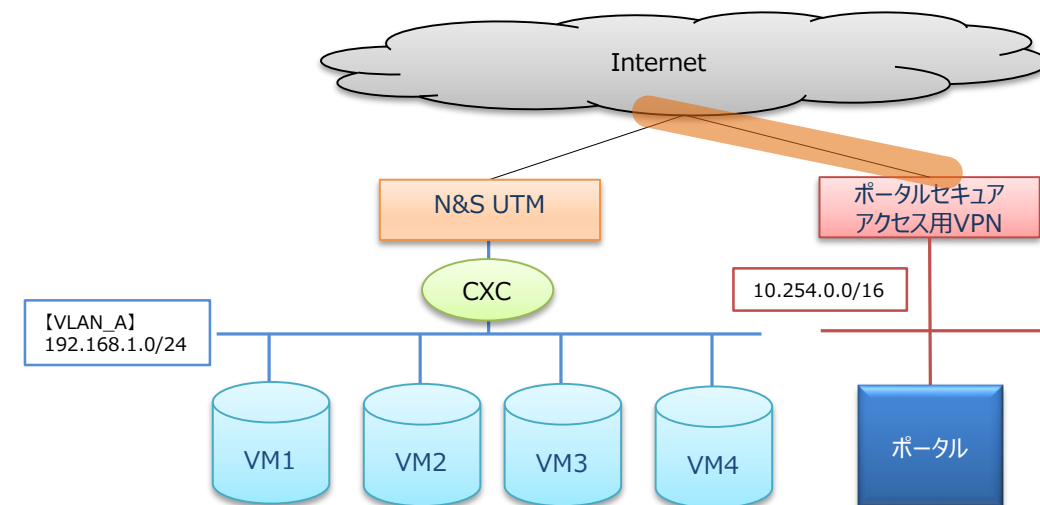
SCP Type-V 設計時の注意点

2021/11/25

ポータルアクセス構成について

ポータルアクセス構成例

パターン1：ポータルセキュアアクセス（IP制限あり）



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 1式（VLAN A(標準)）
- 外部接続（CXC） : 1式
- セキュアアクセス : 1ユーザ

ポータルセキュアアクセスについて

■ 申請時について

- ポータルセキュアアクセス用に下記3セグメントの内1つ選択頂きます。
お客様環境で使われていないセグメントを選択してください。

- 10.254.0.0/16
- 172.30.0.0/16
- 192.168.128.0/17

- VPN接続時、選択されたセグメント内の1IPアドレスが、お客さま端末に割り当てられます。
- VPN接続毎に、割当IPアドレスは変動します。

★上記、3セグメント以外のセグメントは選択できません

既にお客さま環境にて、上記すべてのNWをご利用中の場合は、本メニューはご利用いただけません。

■ 割り当てセグメントについて

- ポータル用セグメントが属することができるのは、ポータルとVPNのみとなります。
VMセグメントや、CXCセグメント等、他セグメントとの接続は出来ません。

■ アクセス制限について

- ポータルセキュア用VPNのWAN側IPについては、アクセス元制限を実施しています。
ポータルセキュアアクセス申請時、ポータルアクセス元IPアドレス（グローバルアドレス）を指定頂く必要があります。
- IPアクセス制限は1IP～10IPの登録が可能です。
★IPアクセス制限が不可能な場合は本メニューは選択いただけません。

■ その他

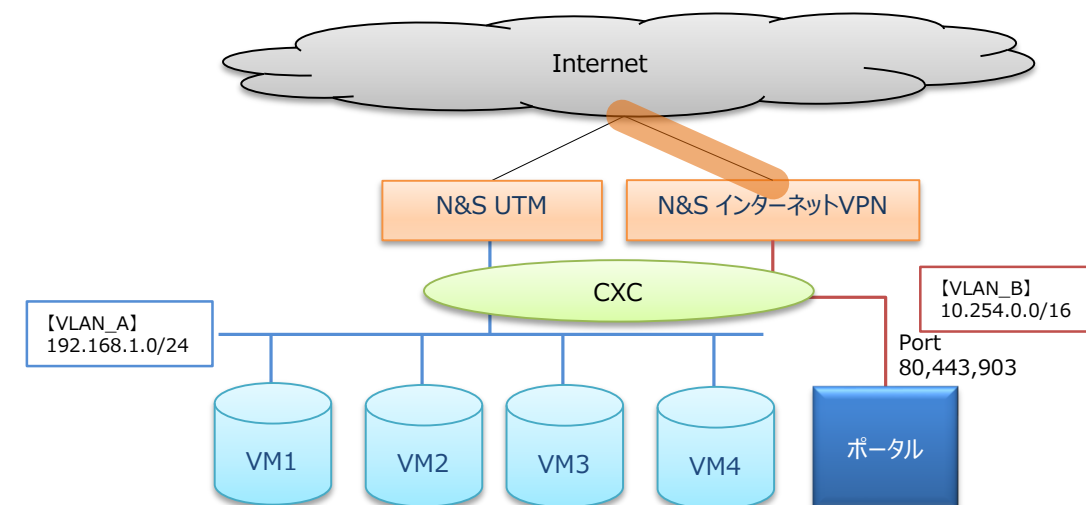
- ポータルセキュアアクセスについて、お客様の**VLAN割当は必要ありません。**

■ 利用時について

- FortiClientの利用が必要です。
- ポータル接続用端末には、予め hosts にポータルの FQDN および、IPアドレスを記入頂く必要があります。
- ポータルのIPアドレスは固定となります（10.40.15.254）

ポータルアクセス構成例

パターン2-1：N&SインターネットVPN→ポータル



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 2式（VLAN A(標準), B)
- 外部接続（CXC） : 2式

閉域網接続（N&S インターネットVPN利用）について

■ 申請時について

- ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定頂く必要があります。
- 10.40.12.0/22 のセグメントについては指定できません。
- 閉域網接続にてポータル接続を行う場合、CXCネットワーク設定シートにて「SCP Type-V ポータル接続」を追加する必要があります。

■ その他

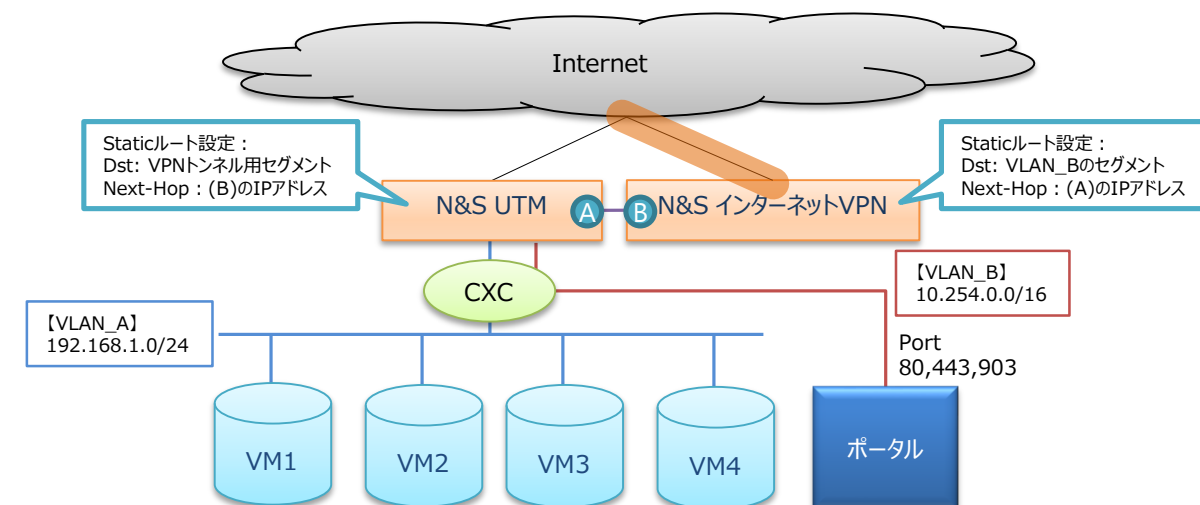
- 閉域網接続については、ポータル接続セグメント用にお客様VLAN割り当てが必要です。
- ポータルは80/tcp, 443/tcp, 903/tcp通信を利用するため、通信の許可設定をして下さい。

■ 利用時について

- ポータル接続用端末には、予め hosts にポータルの FQDN および、IPアドレスを記入頂く必要があります。
- ポータルが属するセグメント、ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイはお客様指定のアドレスとなります。
- 別途、CXCや関連サービスの申込が必要となります。

ポータルアクセス構成例

パターン2-2：N&SインターネットVPN→N&S UTM→ポータル



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 2式（VLAN A(標準), B)
- 外部接続（CXC） : 2式

閉域網接続（N&S インターネットVPN・UTM利用について）について

■ 申請時について

- ポータルが属するセグメント、およびポータルのIPアドレスを指定頂く必要があります。
- 10.40.12.0/22 のセグメントについては指定できません。
- 閉域網接続にてポータル接続を行う場合、CXCネットワーク設定シートにて「SCP Type-V ポータル接続」を追加する必要があります。

■ その他

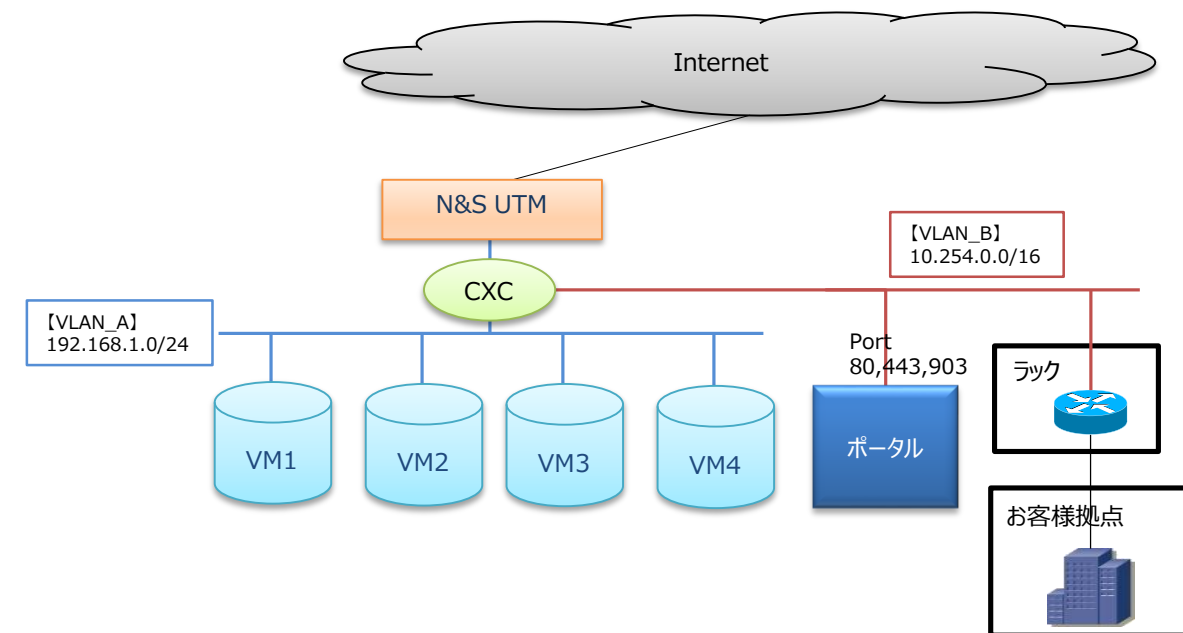
- 閉域網接続については、ポータル接続セグメント用にお客様VLAN割り当てが必要です。
- ポータルは80/tcp, 443/tcp, 903/tcp通信を利用するため、通信の許可設定をして下さい。
- **N&S UTMおよびN&S インターネットVPNの双方に、スタティックルート設定、およびACL設定が必要です。**

■ 利用時について

- ポータル接続用端末には、予め hosts にポータルの FQDN および、IPアドレスを記入頂く必要があります。
- ポータルが属するセグメント、ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイはお客様指定のアドレスとなります。
- 別途、CXCや関連サービスの申込が必要となります。

ポータルアクセス構成例

パターン3-1：閉域網接続（お客様拠点→ポータル）



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 2式（VLAN A(標準), B)
- 外部接続（CXC） : 2式

閉域網接続について

■ 申請時について

- ・ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定頂く必要があります。
- ・10.40.12.0/22 のセグメントについては指定できません。
- ・閉域網接続にてポータル接続を行う場合、CXCネットワーク設定シートにて「SCP Type-V ポータル接続」を追加する必要があります。

■ その他

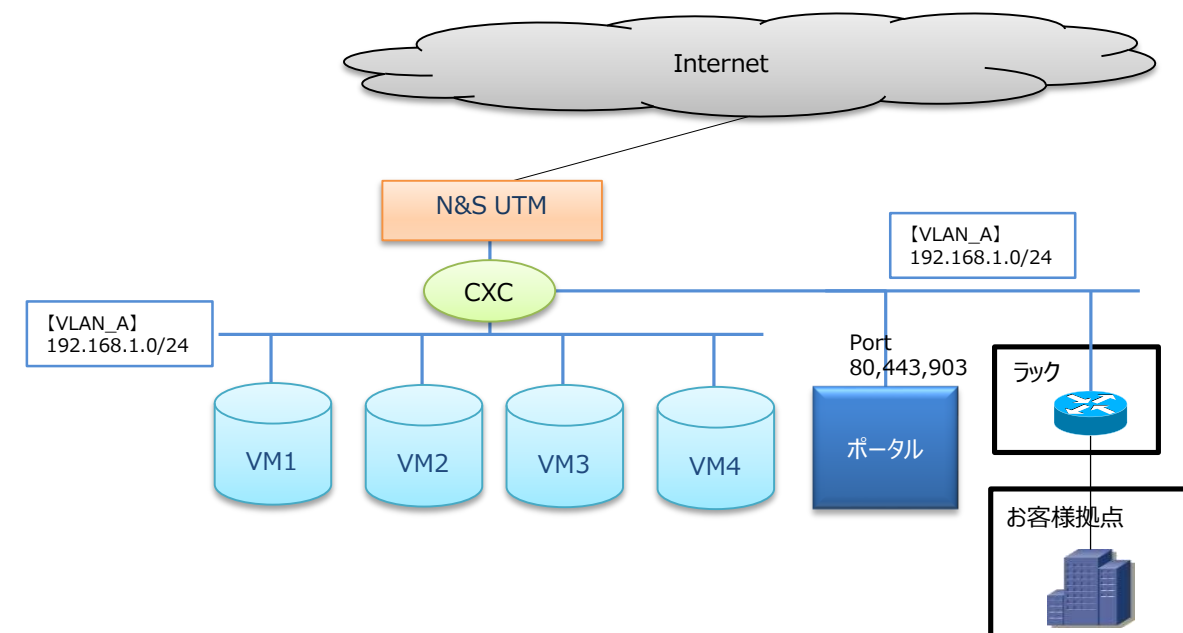
- ・閉域網接続については、ポータル接続セグメント用にお客様VLAN割り当てが必要です。
- ・ポータルは80/tcp, 443/tcp, 903/tcp通信を利用するため、通信の許可設定をして下さい。

■ 利用時について

- ・ポータル接続用端末には、予め hosts にポータルの FQDN および、IPアドレスを記入頂く必要があります。
- ・ポータルが属するセグメント、ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイはお客様指定のアドレスとなります。
- ・別途、CXCや関連サービスの申込が必要となります。

ポータルアクセス構成例

パターン3-2：閉域網接続（VM⇔ポータル）



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 1式（VLAN A(標準)）
- 外部接続（CXC） : 1式

閉域網接続（VM⇔ポータル利用）について

■ 申請時について

- ポータルのIPアドレスおよびデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定頂く必要があります。
- 10.40.12.0/22 のセグメントについては指定できません。
- SCP Type-V上のVMとポータルサイトを同一セグメントにしたい場合は、CXCネットワーク設定シートにて該当VLANに対し「SCP Type-V VM接続」「SCP Type-V ポータル接続」の申請が必要です。

■ その他

- 閉域網接続については、ポータル接続セグメント用にお客様VLAN割り当てが必要です。
- ポータルは80/tcp, 443/tcp, 903/tcp通信を利用するため、通信の許可設定をして下さい。

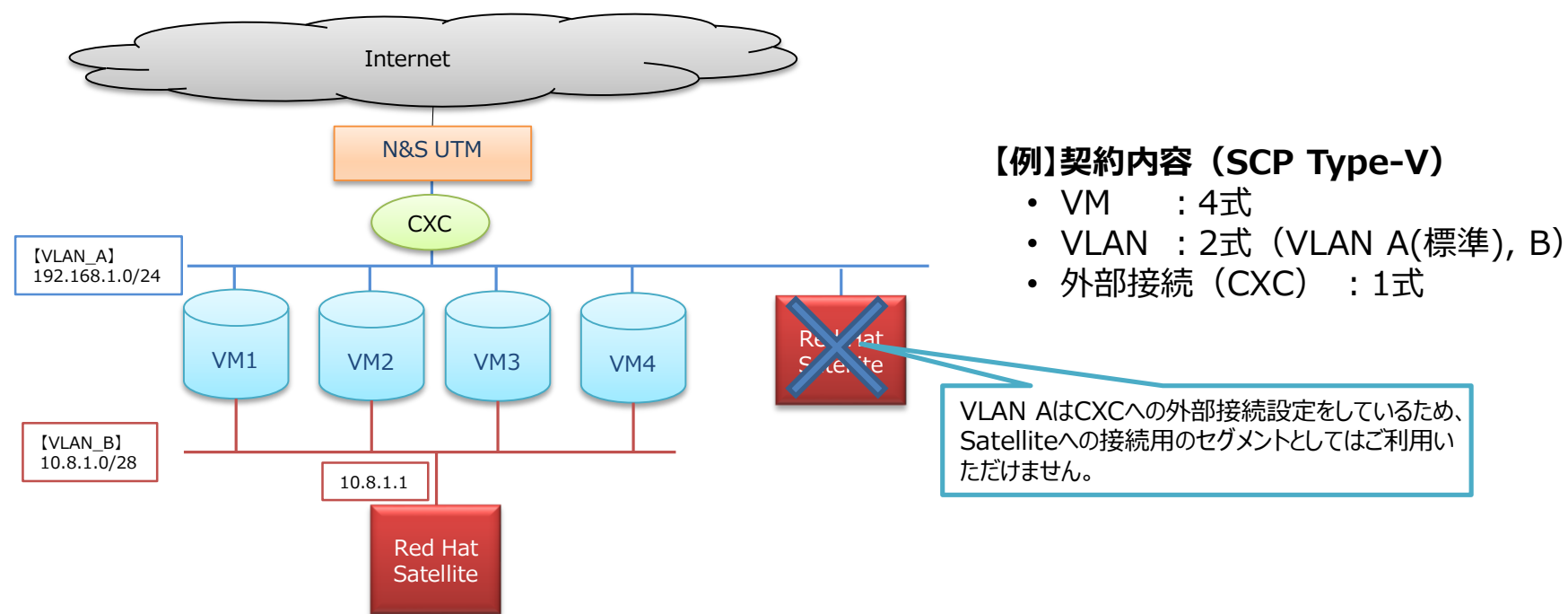
■ 利用時について

- ポータル接続用端末には、予め hosts にポータルの FQDN および、IPアドレスを記入頂く必要があります。
- ポータルが属するセグメント、およびポータルのIPアドレスはお客様指定のアドレスとなります。
- 別途、CXCサービスの申込が必要となります。 N&S UTMのご契約は必須ではございません、無くてもご利用いただけます。

Red Hat Satellite構成について

Red Hat Satellite設計時の注意点

Red Hat Satellite（以降、Satellite） は、RHEL OSのパッケージ取得/更新・OSアップデートを取得する際に必要となります。
RHEL OSを利用する場合は必ず構成する必要があるため、ここでは設計上の注意点を記載します。



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 4式
- VLAN : 2式（VLAN A(標準), B)
- 外部接続（CXC） : 1式

Red Hat Satellite設計について

■ 申請時について

- ・外部接続設定をしていないVLANが 1 つ必要になります
 - ・Satellite用に下記3セグメントの内1つ選択頂きます。
お客様環境で使われていないセグメントを選択してください。
 - i. 10.8.0.0/16
 - ii. 172.16.0.0/16
 - iii. 192.168.0.0/17
 - ・選択されたセグメント内からサブネット/28のネットワーク1つと、SatelliteサーバのIPアドレスがお客様に払い出されます。
- ★ 上記、3セグメント以外のセグメントは選択できません。

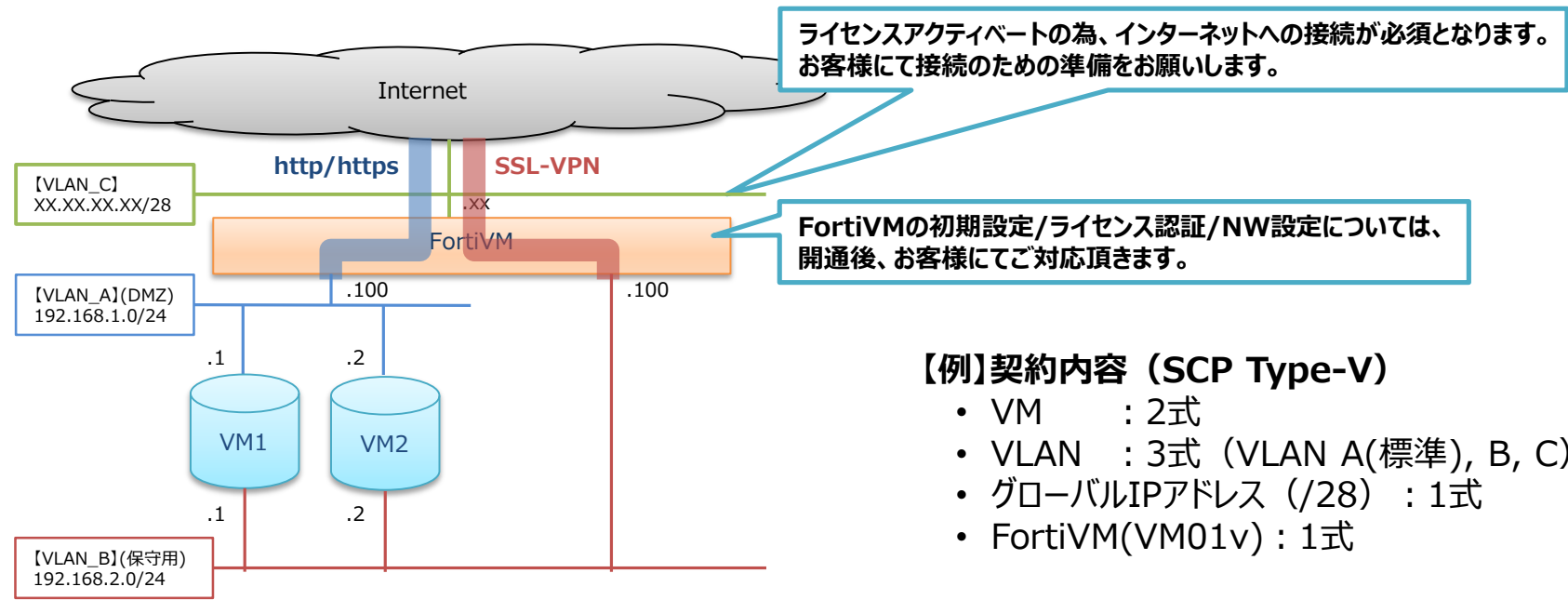
■ 利用時について

- ・RHEL OSでのNWの設定、およびSatelliteへの接続設定については、
開通後、お客様にてご対応頂く必要があります。

FortiVM構成について

FortiVM設計時の注意点

FortiVM利用設計上の注意点を記載します。



【例】契約内容（SCP Type-V）

- VM : 2式
- VLAN : 3式（VLAN A(標準), B, C)
- グローバルIPアドレス (/28) : 1式
- FortiVM(VM01v) : 1式

FortiVM設計について

■ 申請時について

- **ライセンスアクティベートの為、インターネットへの接続が必須となります。**
 - SCP Type-V インターネットコネクティビティ接続設定[サービス]
 - クラウド クロス コネクト インターネット接続[サービス]
 - お客様オンプレミス環境からのグローバル接続[お客様準備] 等
- FortiVMに接続可能なNIC数は10個までです。
- 提供メニューはファイアウォールとUTMがございます。

■ 利用時について

- 弊社ではFortiVMのインストール、およびライセンスファイルの提供までを実施します。
- **FortiVMの初期設定/ライセンス認証/ネットワーク設定については、開通後、お客様にてご対応頂く必要があります。詳しくは下記マニュアルをご参照ください。**
- FortiVM操作マニュアル
<https://cloud.nttsmc.com/doc/scp_mnl_fortigate_v6.pdf>